

第27回 兵庫便教会 報告

6月2日（土）清々しい青空の下、8名の参加者で第27回兵庫便教会を開催いたしました。今回は神戸市立須磨北中学校をお借りしての初めての便教会、H先生ありがとうございました。参加者の自己紹介のあと、DVD「掃除の道」を拝聴しました。何度も見ているのですが、見る度に新しい発見と忘れていた大切なことに気づかされます。

今回は男女トイレに分かれて活動しました。まず女子トイレの排水溝にある釣鐘がとれなくて難儀しました。リングもなく、取手もほとんどないので、掴むこともできません。Kさん御夫妻が粘り強く、様々な工夫を凝らしてようやく取れました。今回の掃除では最終的に、尿こしなどの汚れが取りきれなかったのですが、なかなか取れない排水溝の釣鐘を外して掃除できたことの意味は大きかったと思います。交流会での感想でリーダーのI先生も「今回の便教会はKさん夫妻が排水溝の釣鐘を取り出したことに全てがあったと思う」と話されました。



以下のような感想がありました。『物を大切に』を心がけて掃除に取り組んだ。釣鐘を協力してとれた時は感動した。」「少しずつとれていく過程に清々しさを感じることができた。トイレの綺麗さは生徒の心の安定につながると思う。」「強烈な尿石を取ると心が綺麗になった気がした。」「取りきることが目的ではないが、取りきれなかった心残りがある。」

「風が変わった。その空気が好きである。自分を高める場としての掃除を続けていきたい。」「最近、仕事が増えてミスが多くなった。掃除をして目の前のこと一つ一つに集中して取り組むことの大切さに気づいた。」「新しい職についての自分はDVDにあった『ひとりの百歩より百人の一步』の話に共感した。少しずつ取り組んでいきたい。」「Kさん夫妻のあきらめない姿に感動した。」

今回も多くの人に支えられて便教会を開催することができました。会場提供をしてくれたH先生から早速、便教会の取り組みを紹介した職員向けの「教頭便り」をいただきました。後日、「教頭便り」を読んだある先生が「次回是一緒に！」と言っていたと伝えてくれました。一生懸命な思いは伝播していくのだと思い、私もがんばろうと決意を新たにいたしました。ありがとうございます。

（文責 木田 重果）

